

No

1. 名称

大会の正式な名称は「全国障害者技能競技大会」ですが、親しみやすいものとするため、愛称として「アビリンピック」を使っています。「アビリンピック」(ABILITYMPICS)は、「アビリティ」(ABILITY・能力)と「オリンピック」(OLYMPICS)を合わせたものです。

2. 目的

本大会は、障害のある方々が日頃培った技能を互いに競い合うことを通じて、職業能力の向上を図るとともに、企業や社会の障害者雇用に対する理解を深め、その雇用を促進することを目的として開催しています。

3. シンボルマーク

大会を象徴するシンボルマークは、故岡本太郎氏にお願いして作っていただいたものです。月桂樹の葉と人間を形どったこのシンボルマークは、強く自分を切り開いてゆく人間像を表しています。

4. アビリンピックの歴史

第1回大会は、1972年(昭和47年)11月に当時の皇太子同妃両殿下をお迎えして千葉県で開催されました。以降、国際アビリンピックが開催される年を除いて毎年開催しています。

また、第1回大会から第25回大会まで千葉県を舞台として開催してきましたが、第26回大会(平成14年)より、全国的に障害者の雇用促進に関する気運を盛り上げるため、熊本県、宮城県、山口県、香川県、千葉県、茨城県、神奈川県、長野県、千葉県、愛知県、山形県と地方都市で開催してきました。第37回大会となる今回は、栃木県で開催いたします。

5. 国際アビリンピックについて

国際アビリンピックは、1981年(昭和56年)の国際障害者年を記念し、当時の皇太子殿下を名誉総裁に推戴し、東京で第1回大会が開催されました。以来、コロンビア、香港、オーストラリア、チェコ、インド、日本(静岡)、韓国とほぼ4年に1度開催されています。第9回国際アビリンピックは2016年(平成28年)3月23日~26日までの4日間、フランス(ボルドー)で開催されました。

6. 喫茶サービス

「喫茶サービス」は、模擬的に設置された喫茶店で、お客様に対して他の従業員と連携・協力しながら、お客様の立場に立って正確に、かつ、スムーズにサービスを提供する技術を競うものです。

7. 縫製

ミシン、アイロン、鋏、目打ちなどを使い、裁断された布パーツを組み合わせて縫製する競技です。布地の扱いやミシン縫い、アイロンなどを適切に使用できる技術と判断力が必要です。

8. オフィスアシスタント

「オフィスアシスタント」は会社から出す大切な書類の郵送準備をする業務です。競技では手紙を出すまでの作業「文書の三つ折り」、「宛名シールの貼付」、「文書の封入」、「仕分け」を行い、制限時間内でそれぞれの作業数量や仕上がり状況、正確さを競います。

9. 木工

のこぎり、のみ、かんななどの手工具を使い蓋つき小箱をつくります。機械加工ではつくり出せない、完成度の高い洗練された加工の作品を生み出すことができます。

10. 洋裁

薄手ウールを使いオーダー仕立ての、オーバーブラウスを製作します。荒裁ちした布地を裁断、芯貼り、印づけ、本縫い（ミシン、アイロン、ロックミシン）の順に作業を進めます。接着芯をしっかり貼ることや、前身頃丈の長さや袖つけ、衿つけが左右対称であることが重要です。

11. コンピュータプログラミング

ロボットが一定の大きさの図形を描画できるよう、その動きを指示するプログラムを作成します。プログラムと実際のロボットの動きを併せて審査します。プログラミング技術だけでなく、作業の進捗管理能力などシステムエンジニアとしての総合的な技量を競います。

12. 義肢

義肢とは事故や疾病などで失った手や足の外観や機能を補完する人工の手・足をいいます。競技では、義肢を使うときに切断部分に装着する「ソケット」を製作します。切断部分（「断端」と言う）の形状を正確に型採りし、断端モデルの解剖学的・人間工学的知識をもとに修正、そしてモデルに合わせ正確に加工、組み立てをしていきます。

13. フラワーアレンジメント

フラワーアレンジメントは人々の生活空間に安らぎと喜びを与え、心を癒してくれる「花」の魅力を有効に引き出します。今大会では指示された素材により、「花束」、「ウェディングブーケ」、「テーブル装飾」を作成します。多くの花を組み合わせ、更なる美の再現に感性を注ぎます。

14. 家具

今大会では支給された材料で花台を製作します。手工具や木工機械を駆使して、家具製作に必須である「板と板の接合」や「角材と角材の接合」の仕口加工などを行い、正確で見栄えのよい作品をつくります。

15. ワード・プロセッサ

ワープロソフトWord2016を使い、課題として与えられた和文・英文の文書と同じものを作成します。限られた時間内でWordの各種機能をいかに自在に使いこなせるか、その技術を競います。

16. パソコン操作

視覚障害のある選手が、画面の文字を音声化する読み上げソフトや、画像を大きくする拡大ソフトを利用しながら、キー入力によってパソコンを操作します。

17. 表計算

表計算ソフトのMicrosoft Office Excel2010を使い、Excelの三大機能である、表計算機能、簡易データベース機能、グラフ作成機能の総合的なスキルを競います。

18. DTP

フォトコンテストの作品を募集するためのポスターを制作します。広告を見た人がパッと見て強く惹かれ、参加したくなるような魅力ある作品を作ることが求められます。

19. パソコンデータ入力

たくさんのデータの入力、入力データの修正、帳票作成の3つの課題を通して、データ入力・修正等の速さと正確さを競います。

20. 建築CAD

建物の設計者が描いたスケッチや構造の情報を理解し、CADソフトを用いて建築基本設計図を作成する作業の正確さと速さを競います。コンピュータと建築CADソフトウェアに関する知識と操作技術、建築図面の読解力と製図規則に関する知識が必要です。

21. ホームページ

イベントを告知するホームページを作成します。仕様の内容を正しく理解した上で、高度な技術を最大限に生かして、決められた時間内で作業を行います。

22. 製品パッキング

パッキングとは、荷造り・包装のことをいいます。物流行程のひとつとして、必要不可欠な化粧箱と梱包緩衝剤の組み立て、組み込み商品の包装・梱包作業を行い、より早くより正確な仕上がりを競います。

23. ビルクリーニング

会場内に設けた模擬オフィスで、クリーニングの基本作業を取り入れた2つの課題を行います。1つめの課題はカーペット床清掃で掃除機による吸塵作業、2つめの課題は弾性床材清掃の拭き、掃き、及び机上の清掃を効率的な導線で行います。

24. 歯科技工

失われた歯を回復するため人工材料を使って義歯をつくる技術を競います。今大会では歯が抜けてしまった人が使用する入れ歯の原型である、歯科用ワックスで製作した蠟義歯を時間内につくります。

25. 電子機器組立

現在、身の周りにある多くのものには電子機器が搭載され、さまざまな制御が行われています。そのようなハイテク技術の一端を担う電子機器を組み上げる競技が「電子機器組立」です。夜間、人の動きに反応する「省エネコントローラー」を組み上げます。

26. データベース

データベースは今日の情報システムの根幹をなす重要な部分を占めています。今大会ではAccess 2010を使って病院の患者管理システムを作り、与えられた患者の情報を登録、抽出、更新等の処理を行います。

27. 機械CAD

コンピュータ支援設計ツール(Computer Aided Design:キヤド)を用いて、3次元CADツールを使って機械の図面を作成します。作図者は、製図規格に沿った線の太さや種類を用いた寸法記入で、精密な加工指示を図面に盛り込みます。

28. 製パン加工

パンづくりの行程はミキシング、一次発酵、分割、成型、二次発酵、焼成に分けられます。今回のデモンストレーションではそれらの工程のうち、「成型」の作業を行います。バターロールやあんパン、クリームパン、そして各自が考えた自由な形にパンを成型します。

29. クリーニング

アイロン掛けとしみ抜き作業を行います。アイロン掛けは長袖のワイシャツをつるし仕上げ、半袖のワイシャツを畳み仕上げで仕上げます。しみ抜きでは水性・油性のしみの鑑別後、しみ抜きをします。

30. ベッドメイキング(福祉)

介護現場におけるリネン交換を行います。対象者が寝ている状態で行うので、声をかけるなどしながら寝具を交換し、きれいに整えます。